

平成23年2月9日
独立行政法人農畜産業振興機構

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）の
肥育牛補てん金単価について【平成22年度第3四半期】

平成22年度第3四半期（平成22年10月から12月まで）に販売された交付対象の契約肥育牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱第5の5の（8）のアの（ア）の肥育牛補てん金の単価については、下記のとおりです。

記

肉専用種	交雑種	乳用種
—	31,700円	57,000円

注：本事業は、新たな事業として基金の運営、管理を平成22年4月から開始したことから、補てん金交付額に見合う財源を確保できない場合、肉用牛肥育経営安定対策事業（マルキン事業）同様に、上記補てん金単価を減額することがあります。

○ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱（抜粋）
第5の5の（8）のアの（イ）
県団体は、肥育安定基金の全額を取り崩してもなお支払うべき肥育牛補てん金の額に不足が生じる場合は、理事長の承認を受けて、補てん金単価を減額することができるものとする。

連絡先

畜産振興部畜産振興第三課

担当：坂上、石橋

電話：03-3583-8639、4874

(参考1)

肥育牛補てん金の単価の算定について
【平成22年度第3四半期】

単位：円/頭

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A)	864,080	570,435	299,167
平均生産費 (B)	849,405	610,073	370,450
差額 (C)=(A)-(B)	14,675	△ 39,638	△ 71,283
補てん金単価 (C) × 0.8	—	31,700	57,000

注：100円未満切り捨て

(参考2)

平均粗収益等の算定基礎

【平成22年度第3四半期】

(単位:円/頭)

区 分	平均粗収益及び平均生産費		
	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益 (A) = ① + ②	864,080	570,435	299,167
副産物価格 ①	11,564	6,766	6,377
主産物価格 ② = a × b	852,516	563,669	292,790
28市場平均枝肉価格(円/kg) a	1,791	1,207	670
28市場平均枝肉重量(kg) b	476	467	437
生産費総額 ③	862,128	625,035	377,107
もと畜費	396,263	197,920	79,398
飼料費	296,395	313,520	227,265
うち流通飼料	293,903	312,425	226,337
うち牧草放牧	2,492	1,095	928
敷料費	11,477	8,875	7,768
光熱水料及び動力費	8,436	6,820	5,358
その他の諸材料費	411	366	450
獣医師料及び医薬品費	8,224	5,130	2,446
賃貸料及び料金	3,656	1,463	2,355
物件税及び公課諸負担	5,004	2,511	2,116
建物費	14,520	11,677	6,433
自動車費及び農機具費	15,687	9,841	6,597
生産管理費	1,966	1,332	517
飼養労働費	72,751	44,580	26,986
うち家族労働費	68,065	43,096	25,674
費用合計	834,790	604,035	367,689
支払利子	14,236	5,821	2,635
支払地代	379	217	126
自己資本利子 ④	10,456	13,527	5,615
自作地地代 ⑤	2,267	1,435	1,042
平均生産費 (B) = ③ - ④ - ⑤	849,405	610,073	370,450
差額 (C) = (A) - (B)	14,675	△ 39,638	△ 71,283